

 **医学統計学研究センター** 
平成 28 年度 第 1 回 セミナー

統計学のセンス
- データを見る目、統計手法の選び方、結果の解釈 -
Good Taste in Biostatistics
How to look, select and interpret ?

- 講 師： 丹後俊郎（医学統計学研究センター）
日 時： 平成 28 年 4 月 22 日（金） PM1：15～PM5：00
場 所： 汐留イタリア街東京茶業会館 8 F 東茶協ホール
テキスト： 丹後俊郎著、「統計学のセンス - デザインする視点・データを見る目」朝倉書店、1998. ※当日、テキスト購入を希望される方は事前登録が必要です。3,400 円（税込）
対 象： 臨床医学、公衆衛生学、疫学などの研究に従事している大学院生、研究者、実務家、臨床開発に従事している製薬企業の統計担当者、その他、本セミナーに興味のある者
参加費： 参加申し込み区分（税込）：
A：アカデミック 1万2千円（大学・病院・研究機関所属の方）
B：ノン・アカデミック 2万4千円
定 員： 50 名（定員に達しだい受付締切）

セミナーの内容：

拙著「統計学のセンス」には次のように書かれている

第 I 部：基礎編

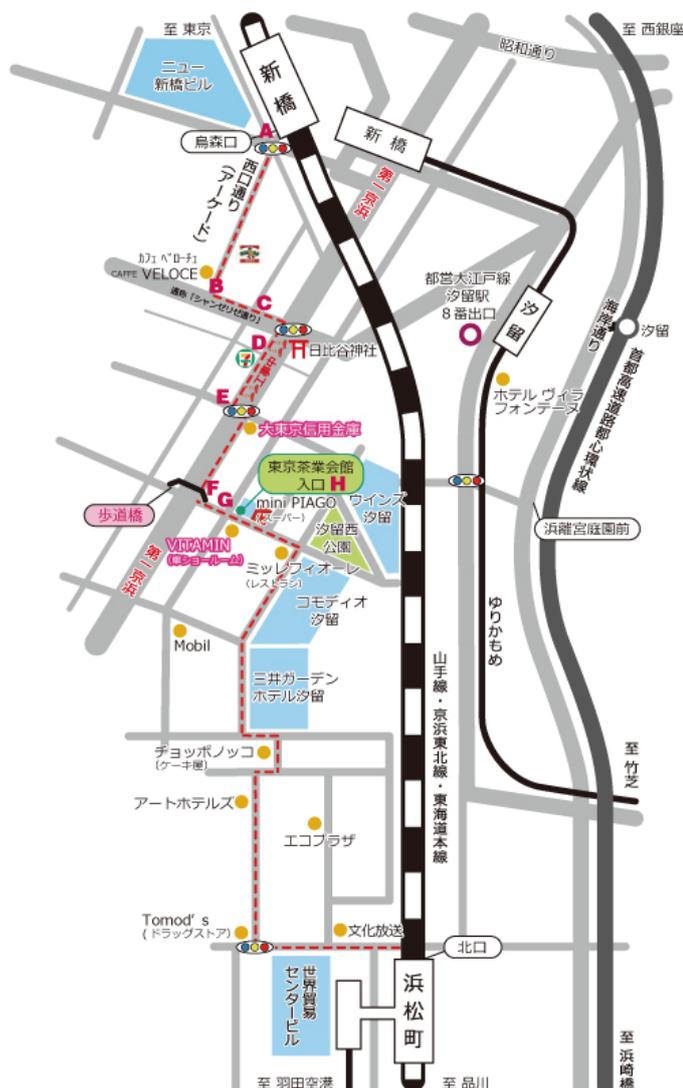
今日では、どんなデータでも統計ソフトに入力すればいろいろな検定・推定の計算が自由に指定できる。この容易さが誤った統計解析を生む大きな原因となっている。データの取得方法の違いによって解析方法と結果の解釈が異なること、また統計解析すること自体ナンセンスであるデータも少なくないことを理解したい。その意味で、第一部では、最小限これだけは知っていて欲しいと思われる統計学のセンス、多くの研究者が気がついていないと思われる注意事項などを簡潔に解説する。したがって、来週学会があるので急いでデータをまとめなければならない、などと、あせっている読者にもぜひ読んでいただきたい。大きな過ちを犯さないためにも。Walk don't run!

第 II 部：アラカルト編

本編では、研究目的に応じて、データをどのように解析して、どのようにまとめるか、そして最後に、どのように解釈するか、について実際例で解説する。気軽に、しかし、理解できるまで繰り返し読んでセンスを磨いていただきたい。満員電車のなかでつり革にぶら下がりながらでも十分読破できる内容と信じて。

本セミナーでは、最近の進展も織り込みながら、これらの事項について解説したい。統計ソフトの利用経験はあるが、統計手法は難しい、という方にお勧めです。

 **エレガントな汐留イタリア街で行われる
最先端のセミナーに参加しませんか？** 
Coffee Break では素敵な音楽と Coffee & Sweets が楽しめます



**東京茶業会館 8 F
東茶協ホール**
港区東新橋 2-8-5
(汐留イタリア街)

JR「浜松町」駅「新橋」駅
地下鉄大江戸線・ゆりかもめ
「汐留」駅、地下鉄三田線
「御成門」駅より 徒歩7分
地下鉄浅草線・大江戸線
「大門」駅より 徒歩8分

セミナー参加申込方法：

参加希望の方は、配布資料の準備もごございますので、
事前登録をお願い致します。

4 / 14 (Thu)

までに、できる限り、

参加申し込みは  e-mailにて承ります。参加費は当日お支払い下さい。
※領収書と参加証明書お渡し致します

宛先： secretary@medstat.jp

件名： 第1回セミナー参加申込

本文： 1. ご氏名 2. ご所属 3. 参加申し込み区分
4. テキスト購入希望の有無

※セミナーのお申し込みをいただいてからお申込者様のご都合でキャンセルされる場合、
キャンセル料を申し受けますので、ご注意、ご了承下さい。セミナー開催の

8日前（開催当日を含まず）まで： 不要
7日前 - 前々日のキャンセル： 参加費の半分
前日 - 当日のキャンセル： 全額

